

伝える事の大切さ・諦めない大切さ

中学校三年

皆さんは伝えたい事がありますか。私は昨年、弁論大会で自分の病気の事を話しました。周りには病名をいう事を心配してくれる人もいましたが、何よりも私はこの病気がどういうものなのかを知ってもらい、病気の事を伝えなかったのです。私の病名は、脳脊髄液減少症。この病気は人によって症状も違い、私は同時に、線維筋痛症も発症し、毎日二十四時間続く痛みと吐き気、だるさ等、様々な症状に悩まされています。それでも治ると信じて、つらく痛い治療も受けています。

三年生になっても、体調は悪く、学校に行けない日々が続きました。周りに迷惑をかけると思い、修学旅行も諦めていましたが、担任の先生が、不安な気持ちもあるかもしれないけど、皆と一緒に行こうと励ましてくれ、私に勇気を

与えてくれました。その励ましの言葉は私の不安をかき消し、諦めは挑戦へと変わりました。修学旅行では、広島で原爆の講話を聞く事ができました。その話は、私の想像をはるかに越える程、すさまじいものでした。怒りと、悲しみが体中を駆け巡り、こんな悲惨で恐ろしい戦争を二度とおこしてはならないと思いました。と同時に、その為にもこの事実を伝えていかなくてはならないと強く思いました。

伝える事、それは簡単なようで難しい事です。でも、言葉は伝えたいという思いが強ければ強いほど、不思議と魔法のように相手の心に響き、伝わります。いつも声を掛けてくれる先生方、友達、病院で励ましてくれる主治医、看護師さん、そして家族、私はたくさんの人に気持ちを伝えてもらい、その言葉で、今、病気と向き合う勇気をもらっています。そして、その勇気は諦めない事にも繋がっています。修学旅行に参加する事は、私にとって大きな挑戦でしたが、伝える事の大切さ、諦めない事の大切さを、改めて考える事ができた貴重な体験でした。

私は病気の事、戦争の事、感謝の気持ち等、

伝えていきたい事がたくさんあります。だから、皆さんも伝えたい事があれば、気持ちを込めて相手に伝えていって下さい。言葉は、すごい力を持っています。そして、何があっても諦めないで下さい。

私には夢があります。今は難しくても、必ず病気を克服し、夢を実現させたいと思っています。だからこそ、私は絶対に諦めません。私がこう思えるのも、今、病気に立ち向かえるのも、私が伝えた病状を周りの人達が理解し、私に気持ちを伝えてくれたからです。勇気や希望を与えてくれたからです。私はこの経験を生かし、感謝の気持ちを伝えながら、今度は私が困っている人の側に立ち助けになりたい、励ましたい、勇気を与えたい、希望になりたいと思っています。伝える事の大切さ、諦めない事の大切さ、これからも、私は一人でも多くの人の心に届けていきます。